

科目名	社会科・公民科教育法 I Teaching Methods of Social Studies: Civics						
科目担当者	小野 創太 ONO Sota						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科〔専門教育科目 自由科目〕 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)
授業の概要	中学校社会科の各分野における目標・内容・方法を理解し、社会科授業において資質・能力（公民的資質）を育成するとはいかなることかについて分析・考察する。 社会科授業理論を習得し、教材研究や ICT の利活用などに関する、教育現場での実践で求められる知識・能力を身に付ける。 主体的・対話的で深い学びを基調とした授業実践が可能となるよう、学習指導案の作成方法、具体的な指導・評価方法を習得し、その成果としての模擬授業を積み重ねることで、実践的指導力を向上させる。						
授業の到達目標	①中学校社会科の目標・内容および内容の取扱いについて理解する。 ②社会科授業理論を習得し、授業設計の理論的基盤を獲得する。 ③授業実践において求められる、教材研究および ICT 利活用の方法について身に付ける。 ④具体的な指導および評価方法を構想し、学習指導案を作成した上で、講義内容で得た知見を模擬授業として実践できる。						
授業計画・内容	1	イントロダクション					
	2	社会科が育成する公民的資質の特質					
	3	公民的資質を育成する社会科授業実践の事例					
	4	社会科におけるねらいに関する議論					
	5	社会科における問いの構造化					
	6	教材研究の方法と実践①：方法論に関する講義					
	7	教材研究の方法と実践②：実践の体験活動					
	8	教材研究の成果報告					
	9	学習指導案の作成方法とその実践					
	10	学習指導案の相互評価					
	11	学習指導案の精緻化					
	12	中学校社会科模擬授業（地理的分野）					
	13	中学校社会科模擬授業（歴史的分野）					
	14	中学校社会科模擬授業（公民的分野）					
	15	模擬授業振り返り					
授業外学修 (事前学修)	模擬授業の教材研究（20 時間程度） 学習指導案の作成（20 時間程度） 講義内容の予習（20 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義毎の小レポートを通した講義内容の復習（30 時間程度） 実施した授業の修正指導案の作成（30 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	講義毎の小レポート				30%	①②③	
	教材研究の成果報告				20%	①②③	
	学習指導案の作成、模擬授業				50%	①②③④	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	『中学校学習指導要領解説 社会編』（文部科学省） 『中学校社会地理的分野』『中学校社会歴史的分野』『中学校社会公民的分野』（日本文教出版）						
参考文献	『中学校学習指導要領』（文部科学省） 『公民的資質とは何か』（東洋館出版社）、『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』（学術図書出版社）、『社会科重要用語事典』（明治図書）						
その他	学校見学およびスクールトライアル事業に参加すること。						